

相学生部長 図書館長 館長 10時 学生部長室 参加を!

現在、45年度市大予算として、文系合同校舎1億6千万円、文系学生ホール7千万円、図書館増築5千万円などなちとられしている。しかし、どのようなものな建てられるのか、その内容、進行状況についてはいつまで学生には知らされてない。この部自治会はこの問題について大学当局と交渉しているが、我々は学生自治会かなんといふために設置されにすぎである。夏から秋には着工されるというが、このままでは我々の要求を反映したものな建つ保障はない。我々の現状はどうだろうか。

★文系合同校舎—— 3室、学生の研究室もよく、機材のよいときは生徒しかい場所がなく、ササビにもサークルのBOXを借りて行っている文系シニアの学生にとって切実かつ緊急の問題である。

★文系学生ホール—— 列をつくって並び、狭く、またSTHの窓辺に上つては寒い食堂、集客室も少ない現状。

★図書館—— 対学生比五、二%の二九〇席という規模、照明も暗く、中央図書も少ない現状。

★更に、館といえは、四五〇〇の学生に対し、定員44名の危険建築物指定のオンボロ寮があるにけり。自他通学者の半数以上が片道1時間以上なかつて通学しており、下宿生と寮生との生活費の差には7千円〜1万円の差がある(学生部資料)というのにこの現状である。

★教員も定員より10名以上も少ない学部が多くある(丁、E等)という現状。

これらの状態は、今年度の予算だけでは決して解決することが出来ぬものである。文系合同校舎、文系学生ホール、図書館増築に学生の要求を反映させていくと同時に来年度市大予算を大中に拡大させる斗いをあこししていなければならぬ。その斗いは今すぐはじめなければならぬ。

そのためには、学生自治会を今すぐ再建し我々の要求を実現するために、全学が一致してこのことである。これこそが現在の急務である。市大の現状を打ち破り、勉学生活条件を改善する唯一の保障である。本館は専ら本日会員に参加されること同時に、その内容をクラスで討論し、我々の要求実現のために自治会再建の斗いにラフさるみで立ちあがれることを許える。

人現在わかっていること

1. 文系合同校舎について
400名、200名教室と大講義の教室を入れる——理由、市との折衝の時、大教室をつくるために、という形で要求したから。規模は現在の経研の3階まで程度。大阪市は、この予算が二期分であるのか、これを打ち切りかは言っていない。
2. 文系学生ホールについて
本館地区に建てることを学生部で決定。規模は現在の学生ホール程度で内装は簡略にしたもの。
3. 文系学生ホールは考えているが、来年度予算要求するは未定。
3. 図書館増築について
現図書館の北側に隣り合室だけの建物(2階建て)をつくる——中央図書にしないのは拡張がたりにないから。教員図書室を準備しているが、必要人員3名が確保できない。
4. 新寮について
来年度も引きつづき200名寮を市に要求する。
4名寮をつくりたいが土地がない。
- ★ 現在の本館地区生徒食堂、大学附はとりこわす予定

全学連立又持合議

文系合同校舎に3室、学生共同研究室、学生ホール、図書館増築に学生の意見を!